

令和2年8月19日（水）1、2限 課題研究 農業科3年生畜産専攻

学校の優良血統牛の後継を残すために、本校で飼育している黒毛和種の母牛（きなこ）の採卵実習を行いました。愛知県畜産総合センター人工妊娠課職員の方が採卵を行う様子を見学し、家畜保健衛生所職員の方から採卵の意義や手技、臓器を使った人工授精の模擬練習のやり方について説明を受けました。その後、本物の牛子宮を用いての人工授精を行いました。生徒たちは初めてみる牛子宮に恐々としながら実習を行いました。授精器が子宮頸管を通過した際には、その感触に驚きました。さらに、顕微鏡で生の受精卵を観察し、採卵が無事に成功したことを生徒はとても喜んでいました。



図1 採卵の様子